

特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会

2023年度 事業概要



枚方人権まちづくり協会

特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会

特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会は、枚方市と人権施策を推進する協働のパートナーとして、市民の人権意識の普及と高揚を図り、すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現をめざし、市民のだれもが自らの選択により自立し、安心して暮らすことのできる人権のまちづくりに資するための事業などに取り組むことを目的としています。

事業の種類（特定非営利活動に係る事業）

1. 人権擁護及び自立支援についての相談に関する事業
2. 人権意識の普及・高揚を図るための啓発に関する事業
3. 人権意識の普及・高揚を図るための人材育成に関する事業
4. 関係諸団体との調整、協力及び連携に関する事業
5. その他目的を達成するために必要な事業

目 次

1. 枚方人権まちづくり協会運営	2 ページ
2. 協会自主事業（人権啓発事業等）	4 ページ
3. 枚方市からの受託事業	6 ページ
(1) 男女共生フロア相談事業	6 ページ
(2) 地域就労支援事業	7 ページ
(3) 進路選択支援事業	7 ページ
(4) 人権ケースワーク（人権なんでも相談）事業	8 ページ
(5) 人権啓発事業	8 ページ
4. 決算概要（活動計算書）	11 ページ

1. 枚方人権まちづくり協会運営

(1) 総会、理事会の開催

6月13日 総会を開催

6月13日、10月30日、3月27日 理事会を開催

(2) 企画運営委員会（7回開催）

協会の運営や事業等について協議した。

構成：理事長、副理事長2人（うち1人は市民活動部会長兼務）、調査研究部会長、市人権政策室長（オブザーバー）、事務局

(3) 市民活動部会（9回開催）

現地会員研修会や啓発事業等の自主事業の企画・運営について協議した。また、事業等開催時には、部会員が受付や会場整理、協会活動のパネル展示、入会勧誘を行った。

構成：部会長、副部会長、部会員7名、事務局

(4) 調査研究部会（2回開催）

構成：部会長、副部会長、部会員2名、事務局

(5) 協会ホームページによる発信

本協会ホームページを活用し、協会事業の周知等に努めた。

一部の事業では申込方法について、申込フォームを作成し利用した。

(6) 会員の加入促進

会費収入増による自主財源の確保を図るため、人権啓発事業の会場での入会案内のコーナーの設置やリーフレットへの入会案内の挟み込み、役員等による知人の勧誘など積極的に加入の呼びかけを行っている。

協会会員数：個人会員 270 名、団体会員 30 団体（2024 年 3 月 31 日現在）
--

(7) 人権啓発事業等における寄付金のお願い

自主事業を継続的かつ発展的に取り組むための財源確保を目的に、2019年度から人権啓発事業の会場でワンコインの寄付を募っている。今年度は複数の寄付金箱を作成し、イベントのたびに市民活動部会員が寄付金箱を手持ちして寄付を呼びかけ、合計 27,794 円の寄付があった。

(8) 人権研修への講師派遣

人権尊重のまちづくりに寄与することを目的に、人権意識の普及・高揚を図るための啓発事業、人材育成事業として、事業所等への人権研修に係る講師派遣を行っている。2023年度は3月に枚方市人事課からの依頼で人権研修の講師として、人権相談員を派遣した。

2. 協会自主事業（人権啓発事業等）

協会内において市民活動部会を設置し、会員自らが企画・運営を行い、市民への人権啓発を目的に、さまざまな事業を実施している。

（1）市民・会員向けの人権研修及び人権啓発事業の実施

例年実施している会員向けの研修会については、総会后においてDVD「語り継ぐ大阪大空襲」「語り継ぐ大阪大空襲 2」上映をおこなった。現地研修会は高麗美術館（京都市北区）ウトロ平和祈念館（宇治市伊勢田）を10月に見学した。

① 夏休み人権映画会

2023年度は、累計発行部数3,500万冊を超える、世代を超えて愛され続けてきた、小学生の人気No.1児童書『かいけつゾロリ』シリーズの映画最新作「かいけつゾロリ ラララ♪スターたんじょう」を午前と午後の2回上映で実施した。

開催日	事業内容
8月9日 (水)	夏休み人権映画会 アニメ「かいけつゾロリ ラララ♪スターたんじょう」 (会場) 枚方市総合文化芸術センター本館 関西医大小ホール

② 枚人研との共催事業の実施

今年度新たな試みとして、枚人研（枚方市人権教育研究協議会）との共催事業を実施した。

講師の川口泰司さんは、一般社団法人山口県人権啓発センターの事務局長。中学時代、同和教育に本気で取り組む教員との出会いから解放運動に取り組むようになる。大阪の大学を卒業後、(社)部落解放・人権研究所、(社)大阪市新大阪人権協会を経て2005年より(一社)山口県人権啓発センターの事務局長となる。

開催日	事業内容
11月22日 (水)	枚人研共催事業 人権講演会 講師：川口泰司さん（(一社)山口県人権啓発センター事務局長） 「ネット人権侵害と部落差別の現実～」『寝た子』はネットで起こされる!!～ (会場) 枚方市総合文化芸術センター別館 メセナホール

③ 人権映画会

「NAGASHIMA～“かくり”の証言～」上映と宮崎監督トーク

「波ひとつありません。浮かんでいると本土まで運んでくれそうな海なのですが、凪いでも『隔ての海』です。」岡山県瀬戸内市長島にある国立ハンセン病療養所の入所者ら約30人の証言を、8年にわたり映像で記録。隔離の歴史を掘り起こしたハンセン病ドキュメンタリー映画。

開催日	事業内容
3月14日 (木)	ハンセン病ドキュメンタリー映画 「NAGASHIMA～“かくり”の証言～」上映と宮崎監督トーク (会場) 枚方市総合文化芸術センター別館 メセナホール

(2) 協会ニュース「人権まちづくり新聞」の発刊

枚方人権まちづくり協会の諸活動を広く周知するとともに、啓発の一助になることを目的に、市民活動部会の編集委員による原稿作成・紙面編集で、年3回、各3000部を発刊し、協会会員及び生涯学習市民センターや図書館などの各公共施設、公立小・中学校に配布している。

3. 枚方市からの受託事業

(1) 男女共生フロア相談事業

枚方市駅前のサンプラザ3号館4階「男女共生フロア」において、専門の相談員を配置し、「面接相談」「電話相談」「法律相談」（DVに関する相談も含む）を行っている。

<内 容>

【女性のための相談】

面接相談（要予約）

相談員：相談日に1名配置（相談員3名）

相談日時：水曜日 13時～16時10分

木曜日 15時～19時40分

金曜日 10時～15時

業務内容：女性の様々な悩みを女性カウンセラーがサポート。

電話相談

相談員：相談日に1名配置（相談員3名）

相談日時：火曜日 15時～20時

水曜日 13時～17時

木曜日 10時～15時

業務内容：相談に行きにくい人のための電話相談。利用者は女性のみで、予約は不要。

法律相談（要予約）

相談員：相談日に1名配置（相談員4名）

相談日時：第1土曜日、第4火曜日 10時20分～12時50分

第2金曜日 13時20分～15時50分

第3木曜日 17時20分～19時50分

業務内容：法律上の問題に女性弁護士が応じる。予約が必要。1人30分1回限りの相談で、女性相談のみ。

【男性のための相談】

電話相談

相談員：相談日に1名配置（相談員1名）

相談日時：第1土曜日 14時～17時

第4木曜日 18時～20時

相談内容：様々な悩みを抱える男性のための電話相談。男性の相談員が対応。予約は不要。

<2023年度の業務実績>

- 面接相談：総数358件（うち、DV相談11件）（新規39件、継続319件）
- 電話相談：総数568件（うち、DV相談9件）（新規74件、継続494件）
- 法律相談：総数88件（うち、DV相談3件）（新規88件、継続0件）
- 男性電話相談：総数34件（新規8件、継続26件）

(2) 地域就労支援事業

地域就労支援センターを設置し、障害者、ひとり親家庭の親、若年者、中高年齢者等で、働く意欲がありながら様々な就労阻害要因のために就労ができない就職困難者について、地域就労支援コーディネーターが、雇用・就労支援施策などを活用し、地域の関連機関（ハローワーク・北河内地域若者サポートステーション・枚方市子どもの育ち見守り室等）と連携しながら、雇用・就労の支援を行っている。

<内 容>

相談員（地域就労支援コーディネーター）：2名

相談日時：月～水曜日・金曜日 9時～17時30分（要予約）

業務内容：相談者の就労支援、就職のためのスキルアップ講習など

<2023年度の業務実績>

○ 相談件数：総数 339 件（就職件数 17 件）（新規 83 件、継続 256 件）

○ 講座等の開催

- ・ 就労支援パソコン講習会（全 13 日）：事前セミナー（6 月 12 日） 参加者 10 名
日商 PC 検定基礎ワード対策講座（6 月 13 日～6 月 20 日） 参加者 11 名
日商 PC 検定基礎エクセル対策講座（6 月 21 日～6 月 28 日） 参加者 11 名
- ・ 医療事務基礎講座（全 7 日）：事前セミナー（10 月 10 日） 参加者 18 名
医療事務基礎講座（10 月 12 日～10 月 31 日） 参加者 17 名
- ・ テールゲートリフター特別教育（全 1 日）：（12 月 9 日） 参加者 10 名

- ・ フォークリフト運転技能講座（全 4 日）：（12 月 15 日～12 月 19 日） 参加者 11 名
- ・ 介護職員初任者研修（全 16 日）：事前セミナー（2 月 7 日） 参加者 15 人
介護職員初任者研修（2 月 7 日～3 月 13 日） 参加者 15 人

(3) 進路選択支援事業

進学意欲を有しながら、経済的な理由により高校・大学等への進学が困難で、支援が必要な生徒に対して、家庭の状況に見合った適切な相談や個々の課題等に対応したサポートを行い、生徒が積極的に自己の進路を考え、将来に展望が持てるよう、必要に応じて学校や関係機関と連携し支援を行っている。

<内 容>

相談員：1名

相談日時：火曜日 13時～17時及び18時～20時（要予約）

業務内容：奨学金・進路等の相談、情報提供、学校訪問、関係機関へのコーディネートなどの相談者に対する支援

<2023 年度の業務実績>

○ 相談件数：総数 35 件（新規 32 件、継続 3 件）

相談形式：面談 26 件、電話 9 件

(4) 人権ケースワーク（人権なんでも相談）事業

専門の相談員を配置し、市民が人権侵害を受け、又はその恐れがある場合において、相談事案に応じた助言及び情報提供を行うとともに、市民が自ら問題解決できるよう支援を行っている。また、人権侵害等の実態把握や相談を通じた行政ニーズの把握も行っている。

<内 容>

相談員：相談日に 1 名配置（相談員 3 名）

相談日時：月・水～金曜日 9 時～17 時 30 分 火曜日 12 時 45 分～20 時

（ただし、第 1 水曜日・第 4 木曜日は 12 時 45 分～17 時 30 分）

業務内容：人権に関するなんでも相談（インターネット上の人権侵害を含む）

<2023 年度の業務実績>

○ 相談件数：総数 364 件（新規 83 件、再開 16 件、継続 265 件）

相談形式：面談 59 件、電話 302 件、メール・FAX 等 3 件

(5) 人権啓発事業

毎年、人権文化セミナー、人権週間事業、連続講座「生きること」及び「生きること」冊子作成事業、北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業を実施している。

① 連続講座「生きること」

連続講座「生きること」は、毎年、複数の講師を招き、それぞれの講師のさまざまな立場での考えや思いを一人称で語っていただき、その生きざまや体験を通して、参加者とともに「生きること」について考えるために実施している（枚方市、枚方市教育委員会と共催）。会場は全回ともラポールひらかた大研修室。

開催日	テーマ	講師
10 月 17 日(火)	生き直し ～人は強制力では変わらない。変わるとしたらそれは自分の中に息づく愛を知った時～	依存症回復施設職員・生活支援員・ 介護福祉士 渡邊洋次郎さん
10 月 24 日(火)	阪神・淡路大震災から得た教訓 ～支え合う事こと～	語り部 KOBE1995 田村勝太郎さん・崔秀英さん・ 和氣光代さん

10月28日(土)	ベトナム語の通訳を続けて25年 ～日本とベトナムの間で～	通訳翻訳業・ベトナム語司法通訳人 チャン・ティ・ヒエンさん
-----------	---------------------------------	----------------------------------

② 人権文化セミナー

人権文化セミナーは、あらゆる人権問題について学び、市民自らの人権意識を高めることを目的に、高齢者、女性、子ども、障害者など、さまざまな人権問題について、講演会の開催等の事業を実施している。

2023年度は、「落語で伝える戦争～創作落語『防空壕』に込めた願い～」と題して講師は落語家の桂花團治さん。新作『じいじの桜』も披露し会場を大いに盛り上げた。

開催日	事業内容	会場
11月15日(水)	落語とおはなし 「落語で伝える戦争～ 創作落語『防空壕』に込めた願い～」 講師：桂花團治さん	ラポールひらかた 大研修室

③ 人権週間事業

人権週間事業は、毎年12月4日から10日の人権週間にあわせて、市民に対して人権意識の普及と高揚を図り、人権尊重のまちづくりの一助とするため、街頭啓発、講演会等を実施している。

2023年度は、コンサートで出演者はウクライナ出身で歌手・バンドウーラ奏者のナターシャ・グジーさん。

開催日	事業内容	会場
12月6日(水)	「ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジー コンサート～水晶の歌声とバンドウーラ の可憐な響き～」 出演者：ナターシャ・グジーさん	枚方市総合文化芸術センター 本館 関西医大小ホール

④ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業

北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業は、2006年に「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行され、12月10日から16日の1週間を「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」と位置づけられていることから、拉致問題をはじめとする北朝鮮による人権侵害問題について、市民の関心と認識を深めるために実施している。

2023年度は、「拉致問題を考えるパネル展・DVD『めぐみ』上映」を実施した。

開催日	事業内容	会場
12月6日(水)	北朝鮮人権侵害問題啓発事業 拉致問題を考えるパネル展・DVD「めぐみ」上映 (大阪府人権企画課所有パネルを借用)	枚方市総合文化芸術センター 本館 マルチスペース1

⑤ 「生きること」冊子作成事業

連続講座「生きること」の内容を冊子に編集し、1,000部作成。市内の公共施設などに配布し、啓発冊子として活用している。

あわせて、冊子のPDFデータをホームページに掲載することで、パソコンやスマホで冊子を読めるようにした。

4. 決算概要（活動計算書）

(1) 2023年度 活動計算書の経常収益の内訳

(単位：円)

科目	説明	決算額
1 受取会費		
会員受取会費	協会年会費 個人：223 団体：31	478,000
2 受取寄付金		
受取寄付金		27,794
3 事業収益		
受託収益		38,571,000
	男女共生フロア相談事業	9,733,000
	人権ケースワーク事業	6,857,000
	人権啓発事業	9,842,000
	地域就労支援事業	9,436,000
	進路選択支援事業	2,703,000
4 その他収益		
雑収益	人権研修講師料 印刷機使用料ほか	141,240
合 計		39,218,034

(2) 2023年度 活動計算書の経常費用の内訳

(単位：円)

事業名	説明	決算額
男女共生フロア相談事業	法律・電話・生き方相談員人件費等	9,701,347
人権ケースワーク事業	相談員人件費・事務通信費・活動費等	6,842,016
人権啓発事業	講座「生きること」、人権文化セミナー業費等	9,831,209
地域就労支援事業	相談員人件費・PCセミナー等開催経費等	9,388,211
進路選択支援事業	相談員人件費・事務通信費・活動費等	2,674,347
協会自主事業	映画会、新聞発行等	1,916,815
合 計		40,353,945

(3) 2023年度 活動計算書の経常外費用の内訳

(単位：円)

事業名	説明	決算額
周年記念事業準備金	周年記念事業引当金の計上	376,839



当協会のホームページはこちら

特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会

住 所：大阪府枚方市岡東町12-1-502
(サンプラザ1号館5階)

電 話：072-844-8788

ファクス：072-844-8799

Email hirakatajinkenkyokai@wing.ocn.ne.jp

URL <https://www.hirakata-jinken.com>